

大原中だより

さいたま市立大原中学校

☎ 048-831-5397

FAX 048-835-1357

第 8 号

はつらつとした学校、地域に輝く学校

平成28年12月1日

メールアドレス:ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ:http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

深まりゆく秋を感じながら

—朝のあいさつ運動、『あたりまえ』のレベル、そして進路—

校長 中島 俊尚

11月に入り、朝の寒さが身に染みてまいりました。大原中橋でのあいさつ運動、がんばって継続中です。月に一度、橋のところでいっしょにあいさつ運動をしてくださる方が「校長先生にあいさつするとき、生徒がニコッとしてくれるのがいいですね」と話してくださいました。またその方は「与野駅のところで生徒に『こんにちは』と声をかけられてすごうれしかった」とも伝えてくださいました。



朝の大原中橋のところでは、ときおり、塾の先生らしき人が宣伝のチラシを配っています。ある日、その塾の先生が私に話しかけてきました、「ここの生徒はみんなまじめそうですね」、「もちろん自慢の生徒です」と私、「時々チラシを配らせてください」と塾の先生、「学校が宣伝していると誤解されないようにお願いします」と私。いつも感心するのは、もらったチラシを歩きながら路上に捨てる生徒がひとりもないということ。このことと、靴のかかとを踏まない、学校の掲示物や展示物にいたずらをしない、清掃にしっかり取り組む、朝読書や自習の時間はとても静か、下校時はきちんと制服に着替えるなどの日常の姿とが重なり、生徒の規範意識の高さに感動しています。規範意識の高さ、すなわち大原中の生徒は<『あたりまえ』のレベル>がとても高いということです。

11月8日、学校を代表して3年5組がさいたま市小・中合同音楽会に出演してきました。すばらしい合唱に会場は割れんばかりの大拍手。知り合いの小学校の校長先生も「大原中、とてもよかった!」とほめてくれました。感激のあまり、ホールの外の通路でひとりひとり生徒をほめていたら、『お静かに』と注意されてしまいました。反省です。

11月15日、さいたま市教育委員会教育委員の武田ちあき先生が本校を視察してくださいました。グローバル・スタディ科を中心とした授業参観でしたが、各学年の生徒の落ち着いた学習態度をたいへん高く評価していただきました。

11月は進路指導の重点月間、1年生は職場体験「未来くるワーク」の取組が始まりました。2年生はグループごとに高校や専門学校を訪問する上級学校訪問を実施しました。3年生は親子同席による進路説明会を開催しました。3年生のクラスによっては、40名中39名もの出席をいただき、保護者のみなさまの関心の高さや学校の責任の重さを再認識いたしました。11月16日の全校朝礼では恥ずかしながら「私の歩んできた道」というテーマで話しました。その中で「自分で考えて決めた目標をしっかりとってほしい、その目標があるから努力もできると知ってほしい。さらに、よい友達と時には励まし合い、時には競い合ってほしい。そして、育ててくれた親への感謝の気持ちを絶対に忘れない人になってほしい。人生は選択の連続、自分の人生は自分でつくる、いつも自分をしっかり見つめ、自分の頭でしっかり考えて・・・」と訴えました。いつものように生徒はたいへんよく私の話を聞いてくれました。充実の2学期もあとわずか、第1会議室の窓から見える紅葉がとても美しく、深まりゆく秋を感じながら、生徒の日々の姿に感動する毎日です。

